

据付け工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ
確実に行ってください。

●ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 警告** 誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- 注意** 誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●据付け工事後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、
取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様で保管いただくように
依頼してください。

警告

据付は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付けられればと、水漏れや感電、火災などの原因になります。
据付工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。
据付には不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
小部屋へ据え付ける場合は万が一冷媒が漏れても境界線を越えない対策が必要です。
境界線を越えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。
万一、冷媒が漏れて境界線を越えたと感電事故の原因になります。
設置工事部品は必ず付属品および指定の仕組部品を使用してください。
指定の仕組部品を、水漏れや、製品の落下、水漏れや感電、火災などの原因になります。
据付は、製品の重さにより、壁や天井に穴を開ける原因になります。
強度不足の場合は、製品の落下により、ケガの原因になります。
台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。
電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」
「内線規程」(最新のもの)「および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を
使用してください。専用回路容量不足や施工不備があると、感電、火災などの原因になります。
配線は、所定の電線を確実に接続し、端子接続部に電線の外方が加わらないよう
確実に固定してください。
接続や固定が不完全な場合、発熱、火災などの原因になります。
製品および電線の配線は、電線種類など構造物が浮き上がらないよう電線を巻取り、
ふたを取り付けてください。
ふたの取付けが不完全な場合、端子部の発熱、感電、火災などの原因になります。
作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。
冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
設置工事後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの
火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

注意

アース工事を行ってください。
アース線は、必ず接地、避雷針、避雷器のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合、感電の原因になることがあります。
電源には必ず漏電しゃ断器を取り付けてください。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電、火災の原因になることがあります。
ドレン工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。
ドレン工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。
製品および電線の配線は、電線種類など構造物が浮き上がらないよう電線を巻取り、
ふたを取り付けてください。換気のれや割音を防止するためです。
(ただし電圧状態によっては、1m以上離しても感電が入る場合があります。)
次のような場所への設置は行わないでください。
1. 薪物油がたまり、調理など、油の肉煎や蒸気の多い場所。
薪物油がたまり、薪物油の蒸気や調理の煙が原因になることがあります。
2. 燃焼性ガスが発生する場所。
薪、ろう付部が燃焼し、冷媒漏れの原因になることがあります。
3. 電線が絡み合う場所。
前部系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
4. 可燃性ガスの漏れおそれのある場所、カーボン塵埃や引火性粉塵の滞留場所、および
シンナー、ガソリンなど揮発性引火物を取り扱う場所。
万が一ガスが漏れて、製品の周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

本製品は、吹出ダクトから出る冷風の当たる範囲だけを冷房するスポット式エアコンです。
締め切った狭い場所では、室温が上昇しますので据付場所の選定(下記●項目)には、充分
ご注意ください。

おねがい事項

取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき正しい運転のしかた
(特にロングライフフィルタの清掃、運転操作のしかた)をご指導ください。

別売付属品

本製品の吹出口には、別売延長ダクトが必要です。下表から該当するもの(1台につき吹出口が必要)をご用意ください。

PAC-297ED(φ125x5m)

付属品

名称	リモコンスイッチ	吹出口ふた	吹出口基フランジ	止めバンド	クランプ材	
個数	1式	※1	※1	※1	2本	
形状	本体	本体	本体	吹出ダクトカバー	樹脂製止金	取扱説明書 据付説明書 保証書 修理窓口・ご相談窓口のご案内
状態	ホネジ4本	トラス小ネジ M4 ※2	トラス小ネジ M4 ※2	※1	1個	

機種名	※1	※2
MD-P40TED・MD-P40TED-L	2個	16本
MD-P60TED・MD-P60TED-L	3個	24本

下記内容については特に注意して工事を行い、完了後再度チェック願います。

(1) 工事完了後のチェック項目

チェック項目	不良の場合	チェック欄
製品の取付けはしっかりとっていますか。	落下、振動、騒音	
断熱材は完全に施工されていますか。(ドレン配管・ダクト)	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板の表示と同じですか。	運転不振・焼損	
配線状態はありますか。	運転不振・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電源の太さは仕様どおりですか。	運転不振・焼損	

また再度下記「安全上のご注意」に記載の事項を必ずチェックしてください。

(2) 引渡時のチェック項目

チェック項目	チェック欄
取扱説明書をお客様に見ていただきながら取扱い説明を行いましたか。	
取扱説明書と保証書をお客様に手渡しましたか。(据付説明書も手渡してください。)	

取扱い説明のポイント

一般的な使用方法に加えて、取扱説明書の中で **警告** や **注意** マークの付いている項目は、
身体的事故や物的損害につながる可能性のある項目ですから、記載事項を説明するとともに、
お客様にもよく読んでいただくよう説明が必要です。

1 据付けの前に <据付け工事に必要な付属品は、据付け工事が完了するまで捨てないでください。>

- (1) 搬入経路を決めてください。
- (2) 搬入時は据え付ける場所まで梱包のまま搬入してください。
やむをえず開梱して搬入する場合は、製品を傷つけないよう、スリング(布製)または当板をしてロープで吊り上げてください。

2 据付け場所の選定

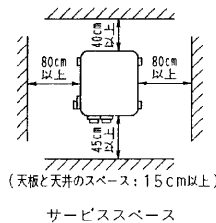
(1) 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- ・冷風が延長ダクト範囲内で取り出せるところ。
- ・風の通り道に障害物がないところ。
- ・質量に耐える強度のあるところ。
- ・サービス作業が容易にできるところ。
- ・高温熱源およびぶく射熱から離れたところ。
- ・塵埃の少ないところ。
- ・ドレンの排水が確実に行きわたるところ。
- ・可燃性ガスの漏れおそれのないところ。

(2) 製品の両側面から熱風が出ますので、熱風の出る場所を避け風通しの良い場所または、
換気扇等を取り付けて、45℃以下となる場所に据え付けてください。

(3) 据え付けようとする場所が製品の重量に耐えられるかどうかを検討し、危険と思われましたら、
補強して据付作業を行ってください。又、振動、騒音が発生しないよう充分補強して据付作業
を行ってください。

(4) 本製品は屋内および屋外軒下への据付が可能です。
屋外軒下設置する場合は、直接雨の当たらない場所を
選んでください。特に側面の排気口には横なぐりの
雨の場合でも水が入らない場所に据付してください。



△製品内に水が入ると、感電や火災の原因になることがあります。

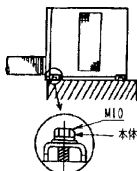
3 製品本体の据付

(1) 天吊りの場合

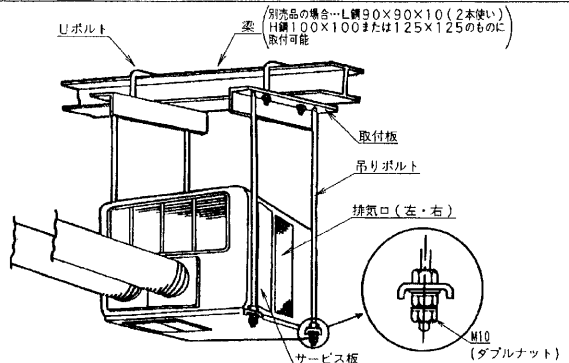
1. 天井は本体質量に充分耐えることを確認してください。
2. 右図の梁以外は、天吊補助金具(KCK1A2L)の別売品をご利用ください。
3. 本体吊り下げ順序(別売品使用の場合)
 - ・現地の梁にUボルトと取付板を固定してください。……付属のUボルトに合った梁をご使用ください。(右図)
 - ・取付板に吊りボルトを取り付けてください。……付属の吊りボルトが短い時は、現地調達願います。
 - ・本体取付位置に、パネ座・平座・ナットを取り付けてください。
 - ・本体を持ち上げ、吊りボルトにセットしたナット部に取付脚を差し込んでください。
 - ・取付脚部のナットを締め込み、適当な高さになるよう調整し強固に固定してください。

(2) 台置きの場合

1. 台は本体質量に充分耐える構造としてください。
2. 本体と台は、移動しないように固定してください。
3. この場合、本体が水平になるようにご注意ください。
4. 水はけのよい所に設置してください。



△本体固定用のボルト類は、別売ご購入ください。



△ドレン配管側と逆方向に傾斜させて設置すると、水漏れなどの原因となります。

4 ドレン配管

- (1) ドレン配管施工をしてください。
- ・配管は短く排水側に、1/100以上の下り勾配をつけ、空気だまりにないようにしてください。
 - ・配管径は接続配管(PS3/4B)と同じか、それ以上してください。
 - ・下り勾配1/100以上を確保するため支持金具を1~1.5m間隔で取り付けてください。
 - ・製品本体のドレンケット部は根元まで確実に必ず断熱工事をしてください。
 - ・屋内を通る配管は、必ず断熱工事をしてください。

△断熱が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。

- (2) 配管施工後ドレンがスムーズに流れるか確認してください。
- ・サービス板を取りはずしてください。
 - ・ドレンパン内に、排水確認用の水を徐々に入れてください。
 - ・配管ゴミづまりをなくするため、なるべく曲部はさけてください。

＜ご注意＞

- ・アンモニア臭のする下水道にはドレン配管を直接接続しないでください。
- ・下水のアンモニア成分がドレン配管を通り室内機の熱交換器を腐食させる可能性があります。



下り勾配にすること



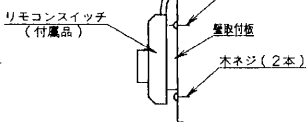
持ち上げられないこと

5 リモコンスイッチの取付け

（リモコンスイッチは必ず固定してください。）

リモコンスイッチは、湿度の高い所や水・油等のかかる可能性のある所は、必ずしてください。また付属の壁取付板を使用して、壁、柱等に取り付けてください。リード線の長さは、4mです。

- ・リード線は、樹脂製止金（付属品）で止めてください。
- 製品を屋外軒下設置する場合でも、リモコンスイッチは屋内か、雨のかからない場所に取り付けてください。また、リード線の壁貫通部にはシール材（現地手配）を塗布し、リード線を雨水が伝わりリモコン本体に浸入せぬよう対策してください。



6 電気配線工事

- 電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。（電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。）
- 電気設備技術基準および内線規程 J E A C 8 0 0 1（最新のもの）に従って、必ず漏電しゃ断器を設置してください。
- 電源（開閉器）は全ての作業が終わるまで入れないでください。
- D種接地工事は必ず行ってください。接地抵抗値は100オーム以下にしてください。
- 漏電しゃ断器が設置されている場合は、保護接地抵抗値が適用できます。
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
 - ・ガス管…ガス漏れ時の爆発、引火の危険性があります。
 - ・水道管…硬質ビニル管が使用されている場合は、アースの効果がありません。
 - ・電話線のアースや避雷針…落雷時のアース電位の異常上昇の危険性があります。
- 電気配線工事は「電気配線図録表」も合わせて参照してください。

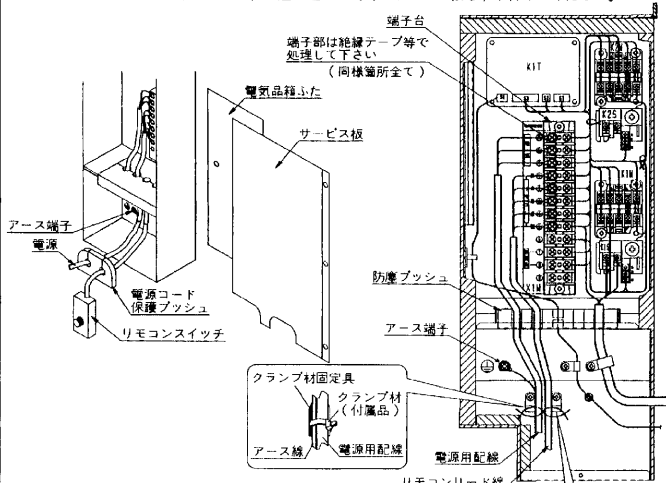
(1) 電源の接続

1. 本体よりサービス板と電源コード保護ブッシュをはずします。
2. 電気品箱ふたをはずします。
3. 電源用配線に圧着端子（現地手配）を取り付けて、配線図に従い端子台に接続します。また、アース線はアース端子に接続してください。その際、電源線はアース線と共にクランプ材固定具に付属のクランプ材で固定してください。

(2) リモコンリード線も同時に、配線図に従い、端子台に接続します。

リモコンリード線をクランプ材固定具に付属のクランプ材で固定してください。

- (3) 電源電線、リモコンリード線の接続が完了したら、電気品箱ふたを開け、電源コード保護ブッシュに電源電線、リモコンリード線を通し、ブッシュを元のとおりにサービス板に差し込んで同時にサービス板を取り付けてください。



標準配線器具明細（内線規程 J E A C 8 0 0 1 -（最新のもの）による）

	MD-P40TED	MD-P40TED-L	MD-P60TED	MD-P60TED-L
開閉器容量	15A	15A	30A	30A
ヒューズ容量	15A	15A	20A	20A
漏電しゃ断器	15A 30mA 0.1sec以下	15A 30mA 0.1sec以下	20A 30mA 0.1sec以下	20A 30mA 0.1sec以下
アース（銅）	2.0mm ² 以上 φ1.6mm	2.0mm ² 以上 φ1.6mm	2.0mm ² 以上 φ1.6mm	2.0mm ² 以上 φ1.6mm
電源電線（金属管）	最小太さ 2.0mm ² φ1.6mm	2.0mm ² φ1.6mm	2.0mm ² φ1.6mm	2.0mm ² φ1.6mm
	最大こう長 36m	36m	18m	18m

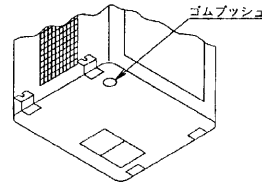
（最大こう長は電圧降下2%として計算しました。）

- △各配線をクランプする際は、配線接続部に張力が加わらないように、付属のクランプ材を使って、確実にクランプをしてください。電気品箱ふたを取り付ける時、電線をはさみ込まないようにしてください。

- △配線接続後、機外からの小動物の侵入を防ぐため、配線取出部にスキ間が空かないよう、パテや断熱材（現地手配）で封止してください。（機内に昆虫などの小動物が侵入した場合、電気品箱内でショートするおそれがあります。）

7 水抜穴の利用

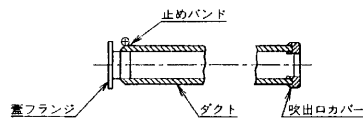
屋外軒下設置する場合は、万一、製品内に水が入った場合にそなえて下面にあるゴムブッシュを除去してください。（下図参照）



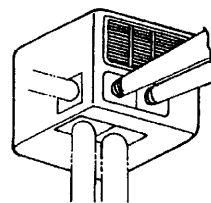
8 ダクトの施工

1. 本機には必ず別売の延長ダクト（KCD125タイプ）を利用してください。標準のダクト接続数は10m×（2本…MD-P40TED(-L)、3本…MD-P60TED(-L)）です。ダクトは吹出口基フランジに止めバンドを用いて確実に取り付けてください。

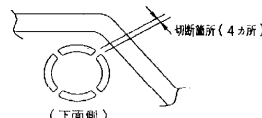
△冷気もれると結露、水漏れの原因になります。



2. ダクトを取り付ける際、吹出口基フランジに力がつかないようにしてください。
3. ダクトは、壁面あるいは天井面に適宜固定してください。
4. ダクトは、3方向に取り付けができますので、現地の状況に合わせて最適な方向を決めてください。但し吹出口基フランジ数以上同時に使用することはできません。使用しない吹出口には、必ず付属の吹出口ふたを取り付けてください。



5. ダクト下面取り出しの場合、下図の位置でニッパーにて切断し、カッターナイフにて底面の穴にそって、内部の断熱材を切り吹出ダクトを取り付けてください。



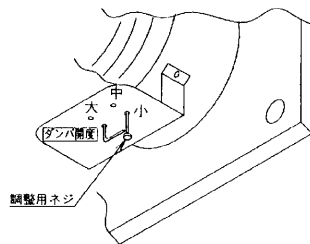
（下面側）

6. ダンパは、ダクトの長さ、および各々のダクトの長さが異なる場合に、風量確保、風量配分調節用として使用します。
7. ダクト長さには制限があります。ダクト長さとのダンパ開度の選定の目安には下表を利用してください。

ダクト本数	機種名	
	MD-P40TED	MD-P60TED
ダクト長さ	2	3
	1m	(小、中) / (小、小、小)
	5m	(中、大) / (中、中、大) / (小、小、小)
	10m	(大、大) / (大、大、大) / (小、小、小)
	15m	(大、大) / (大、大、大) / (小、中、中)
	20m	(大、大) / (大、大、大) / (小、中、中)
1本当り 目安風量 m ³ /min (50/60Hz)	4.3~5.5 5.0~6.3	3.8~5.0 4.5~5.8

表の見かた

例) MD-P60TEDにて、ダクト本数3本・15mで
使用の場合
ダクト開度の組み合わせは、(小、小、中)、
(小、小、大)、(小、中、中)、(小、中、大)、
(小、大、大)、(中、中、中)、(中、中、大)、
(中、大、大)、(大、大、大)の5通りです。
1本当りの風量の目安は3.8~5.0/4.5~
5.8m³/min(50/60Hz)となります。



8. ダンパ開度の調整は、右上図の調整ネジを操作して行ってください。銘板の「大」、「中」、「小」はダンパの開度を示します。
9. 吹出口の位置が決まりましたら、先端に吹出口カバーを差し込んでください。
10. ダクトに露がつき滴下する場合がありますので、必要に応じて別売の防露テープ又は防露付延長ダクトを使用し、防露を施してください。

△ダクト長さが長い場合（10mを超える場合は）ダクトからの放熱により吹出口の温度が上がります。必要に応じて別売の防露テープ又は防露付延長ダクトを使用し、防露を施してください。

9 試運転の要領

- (1) 電気配線工事が終了後、機械保護のために取扱説明書の運転操作の手順に従って、3分間以上連続運転してください。
- (2) 試運転終了後、「おねがい事項」の内容をお客様によく説明してください。